

教職課程認定大学の实地視察に対する講評

実地視察日：令和6年11月25日（月）

実地視察大学：京都光華女子大学（オンライン）

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、一部是正が必要な箇所はあるものの、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○貴学としての教員養成に対する理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

○シラバスについて、教職課程コアカリキュラムに示されている内容が学生に明確に分かるよう、見直しを求める。
○併設校と連携して行う初年次インターン等は、学生が低回生のうちから学校現場を経験することができる効果的な取組であり、引き続きその充実を期待したい。

3. 教育実習の取組状況

○大学から遠方の実習校において実習を行う学生に対し、よりきめ細やかなフォロー体制の構築に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○学生スタッフによるピア・サポーター制度を取り入れ、学生スタッフと大学職員が連携して低回生の学生を支援する体制を整えていたり、こども教育学科の教職課程担当教員等を中心とした全学的な支援体制を整えていることは評価できる。
○ホームカミングデーを実施し、卒業生や在学生の学びを支援している。今後は、地域の学校現場との連携などの充実を期待したい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○教育実習に関する情報共有やボランティア活動等について、引き続き教育委員会とより密な連携に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○保育実習室について、実際の保育現場を再現した施設づくりや工夫が確認できた。今後においても充実を期待したい。
○学生が安心して自主学習を行えるスペースが豊富に確保されている。また、大学の特色を活かした学習や資格取得への意欲を高める工夫等がなされていることが確認できた。

7. その他特記事項

○「令和5年度 教員研修高度化支援 教員研修の高度化に資するモデル開発事業」における採択事業に係る取組については、今後も研究活動を活発化されることを期待したい。
○「光華こどもひろば」を定期的を開催しており、スタッフとして学生を配置することで学生の資質・能力を養成するとともに、地域の子育て支援に取り組んでいることは評価できる。